

やまぐち 市議会だより



地域とともに 想いをのせて 次の一歩へ

定例会特集	2
議案の審議結果	5
委員会ア・ラ・カルト	6
市長に聞きたい!	8
議会からのお知らせ	15

新たな32人でスタート！ 市民の声を市政へ！！

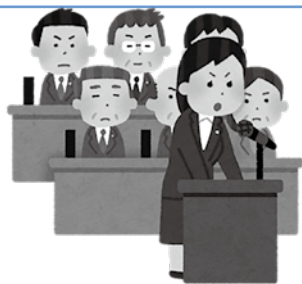
このたびの議会は、山口市議会議員選挙後、新たな32名の議員による初めての定例会となりました。

各議員が、「公約の実現」や、地域での活動などを通じてお伺いした「市民の皆様のお声を市政に反映する」という思いを胸に、本会議での一般質問・質疑や委員会での審査に臨みました。本会議での一般質問・質疑では、新人議員の初登壇があり、会場には新鮮な空気と緊張感が感じられました。

今後4年間、よりよい山口市の実現に向けて取り組んでまいります。

それぞれの視点で市長に質問！

- ・未来を見据えた山口のまちづくりを
- ・持続可能な地域経済にしていくための取組は
- ・子育て世代に選ばれるまちへ
- ・誰もが安心できる福祉の充実を
- ・暮らしと子供を現場目線で守るために
- ・災害に強いまちづくりの実現を
- ・子供を育む基盤づくりを
- ・物価高騰に対する支援の周知が必要
- ・部活動の地域クラブへの移行の現状と課題は
- ・猛暑対策、熱中症対策の周知の現状は
- ・デジタル推進による市民の利便性の向上は



「市長に聞きたい！」（8～14ページ）では、一般質問・質疑でのやりとりを詳しく掲載しています。ぜひご覧ください。

6月定例会

ピックアップ
pick up

次期総合計画に向けての課題と方向性

問 次期総合計画に、子育て世代や若者など多様な市民の意見をどう反映させるか。

答 市民の暮らしに寄り添い、多くの市民の参画を得ながら計画策定を進めていきたい。職員が直接意見を伺う場の設置や、大学生に対するスマホで手軽に回答できるアンケートの実施、高校生と市長が意見交換を行う懇話会などを通じて、子育て世代や若者世代の意見をしっかりと伺いし、計画に反映していきたい。

問 人口減少が進む中、サービスの合理化等による職員定数の考え方をどう位置づけるか。

答 複雑化する行政需要に対応するため、DX推進を含めた組織全体のスリム化は不可欠であり、次期定員管理計画において明確な方針を示す。

令和8年度 補正予算を審査

生活保護費の追加給付

【1億1,522万2千円】

平成25年の生活扶助基準引下げを違法とした最高裁判決を受け、国の特例措置に基づき、対象世帯へ過去の差額分を追加給付するため補正予算が計上された。

委員の意見

- 支援が対象者に確実・円滑に届くよう、丁寧な制度周知や手続面でのきめ細やかな対応を求める。

給食食材費の支援

【2,110万円】

県補助金を活用し、物価高騰の中でも、私立保育園や認定こども園で栄養バランスや量を保った給食の提供ができるよう支援を行う補正予算が計上された。

委員の意見

- 対象の園すべての申請を想定し更なる物価高騰にも対応していることを評価する。支援が確実に行き渡るよう制度の周知徹底を求める。



可燃ごみ指定収集袋の 原材料価格高騰への対応

【3,694万5千円】

中東情勢の悪化に伴う原材料価格の高騰により、本年9月までの契約分については契約額を増額する変更を行い、また、本年10月からの契約分については、市場価格の調査結果を踏まえた金額に増額する補正予算が計上された。

委員の意見

- 今後のさらなる物価高騰に対応するため、契約額の見直しに関するルール整備について検討する必要がある。
- ルール整備の検討に当たっては、十分な研究、検討が必要である。



職員の通勤手当拡大

【1,326万円】

国・県の法令改正に準じ、市職員の給与に関する条例を改正し、駐車場等利用に係る通勤手当の支給対象者を拡大するため、職員手当を増額する補正予算が計上された。

委員の意見

- 国・県の法令改正に準じたものだが、比較的遠距離の民間駐車場を利用する職員が多い本市の実情を踏まえ、意義のあるものと理解する。



6月定例会
ピックアップ
pick up

部活動の地域クラブ活動への移行における現状と課題

問 令和8年9月から地域クラブ活動が始まるが、現状について伺う。

答 当初予定していた105の競技・種目等のうち、参加希望者数や指導者確保の課題により、現在は91の競技・種目等を設置することとなった。設置に至らなかった競技・種目等の申込者に対しては、近隣校での活動や他の競技・種目等への参加を個別に案内している。

問 地域移行に伴い、地域クラブ未加入者の増加が懸念されるが、その現状とフォロー体制について伺う。

答 地域クラブの加入率は、令和7年度の部活動加入率と比較して、5月末時点で約24%減少している。これは、民間クラブの広がりによる選択肢の多様化や、各生徒が自分の意志や関心により選択する仕組みとなったためと考えている。地域クラブ未加入者のフォロー体制については、各中学校に対し校区内で活動する定期利用団体の情報を提供するとともに、各地域交流センターや子ども会などの各種団体と連携し、生徒の放課後や休日の居場所づくりの充実につなげていく。

山口市の経済対策

- 問** 中東情勢の変化による物価や原材料価格の急激な高騰から、市民の暮らしの負担を軽減するための山口市の経済対策について伺う。
- 答** 現在、物価高騰への対応として、プレミアム付商品券発行支援、水道基本料金減免、非課税世帯等への給付金、学校給食食材費への支援、省エネ機器導入補助、中小企業融資制度による資金繰り支援などの山口市経済対策第18弾の取組を進めている。今後も、中東情勢の動向や物価高騰の影響に伴う国や県の対策等を注視しながら、市民生活や地域経済への影響を見極め、必要に応じた対応を検討していきたい。

(仮称) 南部10,000人プロジェクトの取組



- 問** (仮称)南部10,000人プロジェクトの発案に至った背景と今後の方向性を伺う。
- 答** 南部地域では、これまでの都市基盤整備や幹線道路ネットワーク強化等の取組により、JR新山口駅の利用者数の増加、駅周辺地価の上昇、小郡・嘉川・阿知須地域の人口増加などの成果が現れている。さらに、産業団地の従業員数は、この20年間で約3,600人増加し、企業の進出や事業拡大などを背景に、市内総生産も2年連続で県内最大となるなど、南部地域は、本市全体の経済活動を支える新たな活力創造エリアであると認識している。加えて、交通利便性や居住環境が向上し、住宅開発や事業用地造成など民間投資も活発化している。こうした成果を踏まえ、小郡・川東・川西の各エリアの地域特性を生かしながら、さらなる民間活力の発揮につながる環境づくりを進め、南部地域全体の定住人口と就業者数等を1万人規模で増加させることを目指す、おおむね20年先を見据えた長期ビジョンを次期総合計画に位置づけたい。
- 問** 小郡地域への集中の懸念と既存の住民の住みやすさについてどう考えているのか。
- 答** 今後、民間開発の促進と既存の住民の住環境保全を両立させながら、次期総合計画に構想の位置づけを行い、各地域の特性を踏まえ、新たな人口誘導に向けた取組と市民の生活向上への取組を、国や県との連携の下で、段階的かつ計画的に基盤整備を進めていきたい。

交通政策の課題と安全対策

- 問** 市民の利便性向上に向け、幹線バスとコミュニティタクシーを一体的に捉え、公共交通網を一から見直してはどうか。また、地域負担の軽減や地域間格差の是正に向け、市がコミュニティタクシーの運営主体となつてはどうか。
- 答** 山口市まちづくりアンケートでも一定の評価が得られ、本市の公共交通網はおおむね適切であり、一からの見直しは考えていない。また、コミュニティタクシーについては、地域主体による運営の利点を生かしながら、市民・事業者・行政が役割を分担し、持続可能な地域交通の確保につなげたい。
- 問** 令和8年4月1日に導入された自転車の青切符制度を踏まえ、自転車利用者への実効性のある交通安全教育をどのように進めていくのか。
- 答** 自転車の青切符制度の導入を交通安全意識向上の契機と捉え、16歳以上の自転車利用者による一定の交通違反には反則金が科されることや、交通ルール違反には社会的責任が伴うことへの理解を促すため、警察や学校、地域と連携した年代別の継続的な交通安全教育を実施していく。
- 問** 道路交通法施行令の一部改正を踏まえ、自転車や歩行者の安全確保に向けた道路交通環境の整備をどのように進めるのか。
- 答** 自転車ナビマーク等による通行環境の整備については関係機関と連携しながら、可能な箇所から順次対応したい。また、令和8年9月からの生活道路の法定速度引下げは、様々な広報媒体等を活用した周知に努めるとともに、県公安委員会へ視覚制限型信号灯機^{*}の設置を要望していきたい。

^{*}視覚制限型信号灯機とは…特定の方角からしか信号灯器が見えないよう調整され、運転者等の誤認による事故リスク低減を図るために設置される信号機。



議案の審議結果

全員賛成で可決した議案

予 算

- 令和8年度山口市一般会計補正予算（第2号）
- 令和8年度山口市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）
- 令和8年度山口市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）
- 令和8年度山口市介護保険特別会計補正予算（第1号）

条 例

- 山口市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例
- 山口市職員等の旅費に関する条例の一部を改正する条例
- 山口市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例

事 件 議 決

- 消防ポンプ自動車の取得について
- 高規格救急自動車の取得について
- 山口市立小学校教育用コンピュータの取得について



慎重な審議の結果、
今定例会では11議案を
可決しました。

【イメージ】



山口市消防団中部方面隊宮野分団に配備される
消防ポンプ自動車

【イメージ】



中央消防署に配備される高規格救急自動車

【イメージ】



高度救命処置用資器材を搭載

賛否が分かれた議案と審議結果

（○は賛成、×は反対、―は退席）

件 名		審議 結果	未来 志行山 口	やまぐ ち有隣 会	公 明 党	高 志 会	市 民 ク ラ ブ	誠 和 会	日 本 共 産 党	地 域 党 やまぐちの風
条 例	山口市税条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	×	○

各議員の表決態度を市議会ウェブサイトで
確認することができます。



山口市議会では、「総務」「教育民生」「生活環境」「農林建設」「予算決算」の常任委員会を設置し、各委員会が所管する部局の議案や業務等の審査・チェックをしています。

各委員会の所属議員、所管する部局、日程など、詳しくは市議会ウェブサイトに掲載しています。



官民連携で 湯田温泉エリアの活性化へ

令和8年4月24日に、湯田温泉こんこんパークを中心とした回遊促進や地域活性化、認知度向上を目的に、株式会社サードプラネットと包括連携協定を締結した。地域消費の拡大や高齢者の外出機会の創出にも資する取組であり、湯田温泉マスコットキャラクター「ゆう太・ゆう子」を使用したラッピング清掃ロボットの導入や、ご当地力プセルトイ「ふるさと山口ガチャ」の設置などを開始している。

今後、民間の知見と活力を生かした官民連携により、「ずっと元気な山口」の実現を目指していく。

(担当部局：総合政策部)



消防通信指令業務の 共同運用による効果

昨年11月1日から、山口市・秋市・防府市の3市において、災害対応力の強化、組織体制の強化、経費削減を目的に、消防通信指令業務の共同運用を開始した。山口県消防指令センターで災害情報を一元化することにより、管轄を越えた応援出動を迅速に判断することが可能となっている。共同運用により、管轄する消防本部内では対応ができない災害において、消防指令センターの判断で、隣接市へ応援出動を行う「ゼロ隊運用」として本市の消防隊が即時に出動したことで、現場到着時間の短縮と被害の軽減につながった事例もあった。今後、迅速な応援出動の判断を行い、共同運用の効果を一層高めていきたい。

(担当部局：消防本部)

委員の意見

現場到着時間の短縮につながった事例も確認でき、有効な取組として評価する。

総務
委員会

総務
委員会



阿東地域で公共ライドシェアの 実証運行を開始

阿東地域の篠生、生雲及び地福地区で、8月3日から来年1月末までの間、※公共ライドシェアの実証運行を実施する。本年4月末に国の事業採択を受け、市がタクシー事業者や地域団体と連携し、利用者の自宅と医療機関や商店などを結ぶ予約制の運行を行う。本事業により、既存の公共交通を補完し、住み慣れた地域で安心して暮らせる地域づくりを目指す。

(担当部局：阿東総合支所)

委員の意見

国の事業採択を受け、財政的な負担軽減が図られている取組である。

※公共ライドシェアとは
バス事業やタクシー事業によって輸送手段を確保することが困難な場合に、市町村やNPO法人などが、自家用車を活用して提供する有償の旅客運送で、「交通空白地有償運送」と「福祉有償運送」が認められている。

生活環境
委員会



高額請求トラブルに注意を

家の鍵の交換や屋根・水回りの修理など、インターネット広告をきっかけに高額な請求を受ける事例についての相談が増えている。消費生活センターへの相談件数は、令和6年度の5件から、令和7年度は17件へと大きく増加している。

消費生活センターでは、地域からの依頼により、消費生活相談員や消費生活推進員による出前講座を実施しており、その中で、実際に起こったトラブル事例等も紹介しながら、周知・啓発活動に努めている。あわせて、市公式ウェブサイトや、ラジオ・テレビなどのメディアも活用しながら注意喚起を行っており、引き続き、被害防止を図っていききたい。

(担当部局：地域生活部)



生活環境
委員会



最高裁判決を踏まえた 生活保護費の追加給付

平成25年に行われた生活扶助基準の改定を違法とする最高裁判決を踏まえた保護費の追加給付を行う。内容は、平成25年改定後の基準と、この度新たに示された基準の差額を追加給付するもので、対象は平成25年8月以降に生活保護を受給された世帯のほか、各種加算等が算定された世帯や、現在受給していない世帯でも条件に該当する場合がある。追加給付に向け、現在生活保護費を受給されている対象世帯への通知を行い、8月5日の支給日に合わせて追加給付を実施する。なお、既に保護が廃止されている世帯については、国における申出受付の統一的な取扱いの周知を踏まえて対応する。

(担当部局：健康福祉部)

教育民生
委員会



山口市地域クラブ活動の進捗

山口市地域クラブ活動は、令和8年9月からの開始を目指し入会申込みの受付を開始している。地域クラブについては当初105の競技・種目等の設置を予定していたが、現在は91となった。これは、団体競技の規定人数未満の場合には合同チームでの大会参加が認められていないことや、文化部等は最小単位の5名に満たない場合には設置しないこと等によるもので、設置に至らなかった競技・種目等の申込者へは、近隣校への参加を個別に案内している。今後は、指導スタッフに対する研修や部活動顧問からの引継ぎを経て、生徒の安心・安全を最優先に、9月からの地域クラブ活動への円滑な移行と持続可能な運営体制の構築に向けて取り組む。

(担当部局：教育委員会事務局)

教育民生
委員会

委員の意見

追加給付が円滑に行き届くよう、制度の周知や手続に係るきめ細やかな配慮に努めていただきたい。



マンホールカード 菜の花デザインの配布開始

マンホールカードは、下水道広報プラットフォームが企画・監修し、下水道への理解促進と地域の魅力発信を目的として発行しているマンホール蓋のコレクションアイテムで、全国で人気を博している。本市では、議員提案を契機に平成28年12月から取組を開始し、現在5種類のカードを配布している。新たに採用された菜の花デザインのカードは、令和8年4月24日から道の駅あいおにて配布を開始し、5月末時点で1568枚を配布した。

今後も、本取組を通じて、市民生活を支える重要なインフラである下水道への関心を高めるとともに、本市の魅力を全国に発信する観光交流ツールとして活用していきたい。

(担当部局：上下水道局)

農林建設
委員会



コミュニティバスの利用促進

山口市コミュニティバスに、山口県立美術館特別展「金曜ロードショーとジブリ展」のラッピング広告を掲出する。これまで本市では、広告の掲出を市関連事業に限定していたが、本展は高い注目度と集客力を有し、バス利用の促進に加え、文化・芸術鑑賞機会の拡充や文化観光の振興に資するなど、公益性が高いと判断し、掲出を許可した。掲出期間は、7月1日から特別展最終日の10月12日までを予定している。

今後もコミュニティバスの利用促進に向け、様々な観点で取組を進めていきたい。

(担当部局：都市整備部)



ジブリ展ラッピングのコミュニティバス

委員の意見

今後の広告事業に活かすため、乗降客数の推移など、効果の検証にも取り組んでいただきたい。

農林建設
委員会

山口市で配布中のマンホールカード



※カードごとに配布場所が異なります。
詳細は右記二次元コードからご確認ください。

山口市上下水道局
ウェブサイト
(マンホールカード
のページ)





市長に聞きたい! どうなる? これからの山口市

★議員が何を質問したか読んでみましょう! ★一般質問の制限時間は質問と答弁を合わせて50分です。
★質問と答弁の映像は各議員の二次元コードから見るができます。
※必要な場合には二次元コードリーダーをインストールしてご覧ください。※情報の受信にかかる通信料は利用者負担となります。

行政 次なる10年のまちづくりの方向性は?

みなさんでつくる総合計画として策定を進めていきたい。



問 これまでのまちづくりを踏まえた、次期総合計画の方向性について伺う。

答 新市発足以降のまちづくりは着実な成果を上げていく一方、持続可能なまちづくりに向けた課題に対応するため、更なる施策の選択と集中が必要と認識している。次期計画の策定は、本市の新たな将来像を描く極めて重要な取組であり、将来にわたって活力あふれるまち、住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるまち、持続可能なまちとしてのずっと元気な山口の実現に向けた諸施策を検討していきたい。検討に当たっては、市民公募委員を含む山口市総合計画策定協議会を設置するとともに、様々な世代や分野の方々の意見を伺いながら、

未来志行山口
榎山 俊哉

すざやま としや

定住 (仮称)南部10,000人プロジェクトに期待

図りながら、本市全体の発展につなげていきたい。



問 (仮称)南部10,000人プロジェクトを実効性あるものとするには、快適な住環境や働く場の確保のための土地利用の見直し等を含め、前提のない自由な発想で構想を練ること、民間投資で経済活性化を図ることが必要と考えるが、市の考えを伺う。

答 南部地域は、本市全体の経済活動を支える新たな活力創造エリアであると認識しており、その地域特性を生かしながら民間活力の発揮につながる環境づくりを進め、定住人口と就業者数等を1万人規模で増加させる構想を次期総合計画に位置づけたいと考えている。土地利用や道路・上下水道整備、住環境の保全等の課題を含め、構想において総合的に検討し、段階的に事業化を図りながら、

やまぐち有隣会
山本 浩二

やまもと こうじ

文化 文化振興費の支出の在り方を問う!!



山口情報芸術センター(YCAM)

問 文化振興費の支出の在り方や適正な規模について、市の基本的な考えを伺う。

答 文化振興費の規模は、例年、一般会計の1%程度で推移しており、教育・文化都市を掲げる山口市の政策を表していると認識している。

問 山口市文化振興財団に対する公費負担率の現状と、市民の納得感を生む公費負担率の目標設定について伺う。

答 令和6年度決算では91.5%で、市の100%出資により設立された財団への支出としては適切な水準であると考えている。自己収入に関する具体的な数値目標の設定は考えていないが、自主財源の確保への積極的な取組を求めている。

公明党
村上 満典

むらかみ みつひ

生活 物価高騰支援

答

市報や地域広報誌等多様な媒体を活用していく。

問

井戸等の維持管理に係る経費の支援の周知方法について伺う。

状況に応じて必要な施策を推進していきたい。



り方を検討し、状況に応じて必要な施策を推進していきたい。

紙とデジタル商品券を合わせて、市民の約2割に当たる3万3322名が購入された。残り6万8000セットのデジタル商品券については先着順による二次販売を行う。今後は、市民生活や地域経済への影響を見極め、市民や市内事業者等の御意見も伺いながら、支援の在り方を検討し、状況に応じて必要な施策を推進していきたい。

問 やまぐちプレミアム付商品券の周知方法や販売実績について伺う。

答

市報への応募ハガキ付パンフレットの同封や市長定例記者会見、ウェブサイトに、地域情報誌等を活用して周知を行った。販売実績としては、



高志会
瀧川 勉



教育 家庭は全ての教育の出発点

子育てにあって幸せな未来を描く場所であり続けるため、家庭教育のさらなる充実に努めていく。



子供たちにとって幸せな未来を描く場所であり続けるため、家庭教育のさらなる充実に努めていく。

問 家庭の在り方や子供の育成環境が大きく変化する中、保護者が不安なく子育てに向き合える環境づくりが必要と考える。家庭教育支援のさらなる充実に向け、今後どのように取り組むのか伺う。

答

家庭教育講座や保護者力アップによる個別相談等を実施しており、講座で学び、カフェ

をつながら、個別相談で支える、切れ目のない支援サイクルを一体的に機能させていきたい。また、家庭でのコミュニケーションの充実に向け、家庭でしつかり会話し、一緒に体験することの意義や必要性を保護者に周知していきたい。引き続き、全ての家庭が



市民クラブ
山見 敏雄



税 太陽光発電を巡る税制措置

税

トがある。

は、初期導入コストの削減というメリットがある。

再エネ賦課金

再生可能エネルギーの普及を目的に、発電費用の一部を電気料金に上乗せして利用者が負担する制度のこと。

地方交付税で措置されることから、本市財政への影響はほぼないと考える。令和8年度税制改正に伴い国の示した基準に基づき市

国がGX推進へ巨額の投資を行う一方、※再エネ賦課金の引上げなど市民の負担が増す現状は整合性を欠くのではないかと考える。令和8年4月の市税条例の一部改正で、次世代太陽電池を使用した太陽光発電設備に係る固定資産税の課税標準の特例措置が設けられたが、それによる固定資産税収への影響、条例改正の狙いとメリットを伺う。

答

本特例措置により固定資産税は減収となるが、対象が限定されるため件数は少ないと見込んでいる。また、

問

国がGX推進へ巨額の投資を行う一方、※再エネ賦課金の引上げなど市民の負担が増す現状は整合性を欠くのではないかと考える。令和8年4月の市税条例の一部改正で、次世代太陽電池を使用した太陽光発電設備に係る固定資産税の課税標準の特例措置が設けられたが、それによる固定資産税収への影響、条例改正の狙いとメリットを伺う。



誠和会
澤田 誠



産業 暮らしと中小・小規模事業者の負担軽減を！

答

現時点ではまだ考えていない。

問

水道基本料金減免の期間延長の考えはないか。

状況は、現状を踏まえ検討していきたい。



状況は、現状を踏まえ検討していきたい。

答

直接支援については、県の相談窓口、市内商工団体、金融機関と情報共有を図り、国の動向も注視しつつ、

中小業者の緊急事態の打開を求める要請が本市に提出された。中小・小規模事業者の負担軽減のため、助成などの直接支援や市独自の資金繰り支援の強化を検討してはどうか。

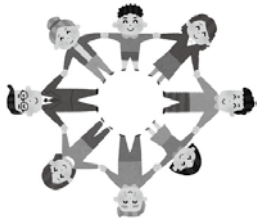


日本共産党
大田 たける



行政 市民とつくる持続可能な山口市

の姿を示しながら計画の位置づけを検討していく。



問 次期山口市総合計画の策定において、子供や若者をはじめとする多様な市民の意見をどのように聴取し、反映させるのか。また、進捗や成果を市民に分かりやすく共有するために、どのように取り組むのか伺う。

答 山口市総合計画策定協議会の設置に当たり、若者や子育て世代の年齢要件で委員の公募を行った。また、市内21地域に職員が伺い意見を聴取する懇話会の開催や大学生へのアンケート、高校生との懇話会等、幅広い世代や様々な分野の方から意見を収集し、計画の策定を進めていく。また、計画完成後に進捗や成果を分かりやすく共有するための指標の設定については、計画の骨子案等で数値によるまち



未来志行山口
倉増 賢治



都市 (仮称)南部10,000人プロジェクトの懸念



- 公共交通網
- 聞こえの支援
- 移動市長室の在り方

●その他の質問

問 狭あいな生活道、待機児童等、まずは既存の課題を解決すべきと考える。また、川東地域の下水道整備は人口増加と企業立地が進めば採算が取れると考えるがいかがか。

答 既存の住民が安心して暮らせる生活環境との調和は重要と考える。道路等の都市基盤は土地利用や人口動態を踏まえて総合的に検討する。

問 本プロジェクトで人口増加を目指す具体地域や都市基盤整備について伺う。

答 小郡・川東・川西の各エリアの現状や特性を踏まえながら、新たなビジネスや交流の創出、定住促進、企業立地の促進を図れるよう、今後、検討に着手する。



日本共産党
尾上 頼子



交通 安心・安全・便利・快適な公共交通機関に！

- 教育環境の充実について
- 福祉施策の充実について

●その他の質問

答 JR徳佐駅の利便性向上についてもJR西日本と協議を行い必要に応じて要望したい。

問 JR徳佐駅のホームへの階段の上り下りをせずにホームに行けるよう、JR西日本へ要望する考えがあるか伺う。

答 JR徳佐駅のホームへの跨線橋には階段があるため、高齢者は利用しづらい。階段の上り下りをせずにホームに行けるよう、JR西日本へ要望する考えがあるか伺う。

きたい。



問 JR徳佐駅のホームへの跨線橋には階段があるため、高齢者は利用しづらい。階段の上り下りをせずにホームに行けるよう、JR西日本へ要望する考えがあるか伺う。

答 県内の新幹線停車駅の中でも、JR新山口駅にできるだけ早期にホーム柵を整備されるよう、JR西日本に要望していきたい。

問 本市の表玄関口ともいえるJR新山口駅の新幹線ホーム柵は、できるだけ早く設置されるべきと考えるが、JR西日本へ要望する考えがあるか伺う。



公明党
其原 義信



観光 今秋のDCを契機とした今後の本市の観光振興



問 交通安全に資する効果的な取組であり、次期山口市交通安全計画に位置づけた。また、学校や地域で開催される自転車の講習会でも周知を図りたい。

答 交通安全に資する効果的な取組であり、次期山口市交通安全計画に位置づけた。また、学校や地域で開催される自転車の講習会でも周知を図りたい。

安全 進を ハンドサイン運動の推進

問 安全安心なまちを目指し、市民一体となったハンドサイン運動の推進に取り組んではいかがか。

答 湯田温泉配給組合等の自主的な取組として、混浴年齢制限を7歳以上とし、各施設において周知等が図られている。こうした状況を踏まえ、引き続き皆様が安心して利用できる環境が保たれるよう配慮しながら、温泉地としての魅力を広く発信していく。



未来志行山口
岡田 純子



都市 住みやすいまちづくりの方向性は？

- その他の質問
- 自転車の青切符制度導入
- スポーツ少年団に対する支援

問 宅地開発が進む地域の交通渋滞や通学路の安全確保、浸水被害等の地域課題についての認識と、今後の住みやすいまちづくりの方向性について伺う。

答 急速な宅地開発に伴う様々な地域課題が生じており、部局横断的な連携が重要だと認識している。これまでも雨水貯留施設の設置や移動式排水ポンプの配備、歩道整備等の対策を進めている。重層的コンパクトシティのまちづくりの取組に加え、国の議論も注視しながら、次期総合計画の策定において、一定の人口減少が続く中にある中でも、ずっと元気な山口を目指すまちの在り方を検討していく。



高志会
植野 伸一

うえの しんいち

都市 新山口駅周辺を「滞在したい目的地」へ



上空から見た新山口駅周辺

問 新山口駅周辺へのカフェやフードコート、屋内キッズスペース等の人々の交流、滞在を促す機能の誘致と、その出店支援策の強化が必要と考えるが、今後の取組を伺う。

答 民間活力を十分に活用する形で快適に過ごせる空間づくりを進めることが重要と考えており、公民連携による民間事業者のニーズ把握や情報共有、本市独自の新山口駅周辺出店支援事業補助金の利用状況等を踏まえた効果的に使いやすい運用が必要と感じている。交通結節機能に滞在誘導や交流機能を加えた形での拠点へと発展させ、新山口駅を中心とした小郡都市核のさらなる魅力向上につなげたい。

未来志行山口
吉富 久悦

よしとみ ひさよし

行政 実務者ニーズの高い情報のDX化を！

(市公式ウェブサイト)
オープンマップ
やまぐち



問 オープンマップやまぐち導入による窓口業務改善の効果と、同マップへの道路台帳図や上下水道図等の追加公開の可能性について伺う。

答 説明時間の削減など窓口業務全体の効率化と負担軽減につながっている。追加公開は、課題の整理や費用対効果の検討を進めるとともに、実現性や業務効率化の効果を見極めながら進めていきたい。

子育て 公立保育園等の完全給食化へ向けて

問 猛暑による食中毒リスクや共働き世帯の負担軽減のため、3歳児以降の主食の提供に向けた対応方針を伺う。

答 大きな炊飯用具等の調達、調理室の改修や新たな人員配置等の課題があり、早期実施は難しいが、保護者等の御意見も伺いながら検討していきたい。

やまぐち有隣会
西崎 孝哉

にしざき たかや

子育て 母子に寄り添う。その思いに市も応えて。

- その他の質問
- 山口市における人的資本投資について
- 山口市の広報戦略について

問 本市の産後ケア事業の委託料は、運営が厳しいと言われる全国平均の水準を下回っており、事業者の善意や犠牲の元に成り立っている状況にある。事業者に過度な負担を強いるものであり、持続可能とは言えない。早急に国の加算制度の活用を含め委託料を見直すべきではないか。

答 こども施策全体のバランスや優先順位を勘案しながら委託料の見直しを検討していきたい。また、母親や産後ケアを担う事業者の声を丁寧把握するとともに、他自治体の取組等を参考にしながら各メニューの柔軟な運用を図り、ニーズに沿った利用しやすい仕組みを検討していきたい。



市民クラブ
野村 雄太郎

のむら ゆうたろう

選挙 過去最低投票率!改善策を問う!

問 市議会議員選挙の投票率は過去最低を更新したが、この結果をどのように分析しているのか。また、投票率向上に向けた今後の取組を伺う。

答 過去の選挙と比較して年齢層も幅広く様々な立場の方が立候補されたが、投票率は前回を下回り、これまでと同様、若年層や都市部ほど低い傾向であった。投票率向上には若い世代への啓発が重要と考えており、新たに有権者となる18歳の方への啓発はがきの送付やSNSによる情報発信を行っている。さらに県内最多の52か所の期日前投票所を設け、利便性の高い投票環境の整備に努めている。今後も主権者教育などの若い世代への啓発活動に継続して取り組む。

●その他の質問
○こどもの権利と意見表明権




やまぐち有隣会
柿沼 瑞穂
かきめほ みずほ



国際 ホノルル市公式訪問団派遣の成果は?

問 市長を団長とした「第2回日本・ハワイ姉妹州・姉妹都市サミット」への公式訪問団派遣の成果を伺う。また、サミットへの参加を踏まえた今後の展開について伺う。

答 経済交流をはじめ、分野の交流を推進していくためには、まずは人と人との信頼関係を高めていくことが欠かせないため、関係者とこれまで以上に強固な関係性を築いていくと同時に、本市の文化団体や伝統工芸などの技術を持った皆様を含め幅広い市民の皆様を中心とした交流の必要性を強く感じた。今後、各分野の交流を進めるに当たり、ホノルル山口県人会をはじめとしたハワイの皆様の山口に対する愛着や熱意を市民の皆様とも共有し、県や周防大島町とも連携しながら実のある交流の展開に取り組む。

(市公式ウェブサイト)
市長コラム
【2026年7月号】




未来志行山口
米本 太郎
よねもと たろう



行政 危機感をチャンスに変える阿東地域の未来は?

問 阿東地域の課題をどのように捉え、今後どうやって持続可能な地域を目指すのか。

答 阿東地域は、この10年間で人口が約3割減少し、高齢化率も6割を超えるなど、本市の中でも特に人口減少と高齢化が進む地域の一つである。これまでも、安心して住み続けられる地域をいかにして守るかという方向性の下、社会基盤の整備充実や持続可能な農林業の構築、移動手段や住環境の確保、交流人口の創出にも取り組んできた。今後のさらなる施策展開として、人口減少が進む中にあっても交流人口を拡大し、地域活力の創出や地域経済の活性化につなげることで、持続可能で元氣な阿東の地域づくりを進めていきたい。

●その他の質問
○納得のいく市民サービスの見える化と公平性の確保




未来志行山口
安河内 淳朗
やすこうち あつろう



子育て 待機児童問題の解消に向けて!

問 保護者の就労形態の多様化や共働き世帯の増加等により、保育のニーズは依然として高く、市民から、保育園等への入所に関する不安の声を多く聞いている。待機児童問題の解決に向けた市の取組の方向性について伺う。

答 新卒保育士等の就職奨励や保育人材の育成・発掘といった保育士確保策に取り組むとともに、保育の受け皿の拡充に向け、幼稚園から認定こども園への移行の促進や、認定こども園の幼稚園部と保育園部の定員の見直しなどについて、各保育事業者と協議、調整を行っている。そうした取組を進め、待機児童の解消を図っていききたい。

●その他の質問
○地域公共交通
○鳥獣被害対策
○歩道のバリアフリー化




公明党
田坂 修司
たさか しゅうじ



行政 副市長の役割について

新たな選任された副市長の役割について伺う。



問 仙石副市長は、まちづくりの根幹を支える都市基盤整備に関する事務を中心に担っている。具体的には、国道2号及び国道9号の整備をはじめ、山口県農業試験場や山口県立大学南キャンパス跡地の利活用の検討、パークロード一帯の県有施設との連携強化、湯田温泉ゾーンの面的整備、（仮称）南部10,000人構想を支えるネットワークインフラとしての県道山口宇部道路の4車線化、県道陶湯田線の事業化等を特命事項としている。また、農業試験場等跡地利用検討協議会副会長のほか、山口市公共交通委員会や山口市道路整備連絡協議会等の会長など、各種施策の推進における中心的な役割も担っている。



誠和会
有田 敦
ありた あつし



移住 選ばれるまちへ!子育て移住の新たな発信

本市には、日本の縮図のような多様性のある自然体験と最先端のデジタル体験が日常生活の中で体験できるといふ魅力があると考



問 本市には、日本の縮図のような多様性のある自然体験と最先端のデジタル体験が日常生活の中で体験できるといふ魅力があると考

答 豊かな自然や歴史文化を感じながら多様な暮らしが選択できることと、最先端技術を教育プログラムとして享受できることが同時に成立することは、本市独自の優位性であり、最先端技術の教育分野への展開は、都市としてのイメージ向上につながると考える。今後、移住情報サイト



未来志行山口
立花 和江
たちばな かずえ



定住 どこにいても安心して暮らせるまちの実現を

●その他の質問
○本市職員の兼業許可

本市独自の中山間地域における高校生の遠距離通学支援について、令和8年3月議会以降の対応状況を伺う。



問 本市独自の中山間地域における高校生の遠距離通学支援について、令和8年3月議会以降の対応状況を伺う。

答 定住対策・転出超過抑制の取組として、本市独自の遠距離通学支援制度を創設することとした。県の支援制度を引き継ぎ、切れ目なく支援するため、徳地・阿東地域に居住の方で、県の遠距離通学支援制度の補助対象外となる令和4年度に小学校の児童であった方を対象とし、本年3月末に県の支援制度と同一の支援をする交付要綱を定めた。過疎地域のうち支援制度の対象外の秋穂地域に居住の方への支援の在り方については、国・県の動向等を踏まえ、次期総合計画における実施に向け検討を進めていきたい。



未来志行山口
大來 尚順
おおぞ なおゆき



生活 特殊詐欺から市民を守る新たな取組

●その他の質問
○道路交通行政について
○河川事業について

携帯電話を介した特殊詐欺対策のため、本市が行う出前講座の配布物として、注意喚起の文言の入ったスマホスタンドを作成しお渡ししてはどうか。



問 携帯電話を介した特殊詐欺対策のため、本市が行う出前講座の配布物として、注意喚起の文言の入ったスマホスタンドを作成しお渡ししてはどうか。

答 出前講座では、特に投資詐欺や警察官を語る詐欺などの手口や対策に関する質問を多くいただく。知らない電話に出ない、SNSで知り合った人からのお金に関する相談は無視することを重点的に周知している。また、特殊詐欺の未然防止のため特殊詐欺対策アプリの導入について積極的な周知に努めたい。議員提案のスマホスタンドについては形状や製作コスト、生産体制などを調査した上で導入について検討していきたい。



公明党
山本 敏昭
やまもと としあき



都市 キッチンカーやカフェの出店で楽しい歩行空間を



山口市亀山周辺・中心市街地活性化アクションプランにおける県立美術館周辺のイメージ

問 山口市民会館を含め、文教施設が並び、パークロード周辺の今後のまちづくりについて、市の考えを伺う。

答 パークロード一帯は、市民会館と県立の美術館、図書館、博物館等の教育文化施設が集中して立地する県都の顔として魅力的な都市空間である。いずれの施設も開館から約50年が経過し、県と今後の在り方を議論すべき局面を迎えており、現在地周辺での整備及び機能集積を県知事に継続的に要望している。創造文化都市としての本市の個性や特徴を伸ばし、都市の魅力をさらに引き出していくことは、本市都市政策の核心をなす方向性だと考えている。



地域政党 やまぐちの風
竹中 一郎
たけなか いちろう



防災 市民の命と暮らしを守る!受援体制の構築。

○部活動の地域クラブ活動への移行について

○中心市街地活性化について

●その他の質問



問 市民の命と暮らしを守るための受援計画の策定状況と、受援体制の構築に関する今後の取組について伺う。

答 大規模災害が発生した場合、短期間で災害対応業務が発生し、多くの人的資源が必要になる。自らの体制だけでこれらの業務を行うことは困難であり、外部からの応援を迅速、的確に受け入れ、情報共有や各種調整等を行うための受援体制を整備することが不可欠である。受援計画については本年度中の策定に向けた取組を進めており、計画の策定を通じて、改めて災害対策本部全体の点検を行いながら、実効性の向上を図り、円滑かつ効率的な受援体制の構築に努める。



未来志行山口
鳥養 祐矢
とりかい ゆうや



産業 地域の特色や資源を生かした地域経済の活性化!

地域経済活性化の取組を推進していく。



問 地域資源を活用してどのように地域経済の活性化に繋げているのか。

答 市内事業者と連携し市内で開催されるイベント等で地場産品の周知を図る域内消費拡大の取組や、県外でのイベントや商談会等でのPR、ふるさと納税制度を活用した本市地場産品の紹介やお礼の品の提供、観光分野と連携した情報発信等による域外消費の取組みに関する取組を進めている。また、民間における地場産品の高付加価値化や新商品開発の取組も活性化しており、国のローカル10000プロジェクトを活用し、地域の特色ある農産物を使用して新たな観光拠点の形成を目指したクラフトビール醸造所の創業を支援している。今後とも行政と民間事業者が一体となって地域経済活性化の取組を推進していく。



未来志行山口
河村 芳郎
かわむら よしろう



教育 地域クラブにおけるスケジュール等の連絡方法

●その他の質問

○いじめ・不登校対策について



問 地域クラブの連絡体制をどう整えていくのか。また、天候による中止を含めて生徒本人が地域クラブのスケジュール把握をするために、本人のスマートフォンや配付されているタブレットに部活アプリをダウンロードすることは可能か。

答 地域クラブの活動の連絡はアプリで行うこととしている。また、生徒が学校にスマートフォン等を持ち込むことが原則として禁止されていることから、平日は各地域に配置している地域クラブコーディネーターと学校が連携し、部活動黒板等を活用して周知する。タブレットの活用は、セキュリティ対策等の安全面や運営面の課題があり、慎重な検討が必要であるが、導入の可能性について調査研究を進めたい。



市民クラブ
関谷 拓馬
せきぐち たくま



議会からのお知らせ

私たちのまちの未来が決まる場所 議会を傍聴してみませんか

市議会では、まちのルール（条例）や予算など、皆さんの暮らしに直結する大切な決定を行っています。議会の本会議や委員会は、どなたでも自由に傍聴することができます。市政をより身近に感じる第一歩として、ぜひお気軽にお越しください。

【傍聴受付】

本庁舎6階市議会事務局で傍聴人受付簿に住所、氏名をご記入ください。
（本会議・委員会の開催日当日の午前9時30分から随時受付）



市議会ウェブサイト
（傍聴）

傍聴するための「5つの約束」

議事の円滑な進行と、皆さんが快適に傍聴できるよう、以下の約束へのご理解とご協力をお願いいたします。

- ①「静かに見ましょう」
私語は控え、静かな環境づくりにご協力ください。
- ②「拍手や声援は控えましょう」
発言に対して、拍手や声で賛成・反対の気持ちを表すことはご遠慮ください。
- ③「音の出る機器は電源を切るかマナーモードに」
携帯電話やスマートフォンは、電源を切るか、あらかじめ音が鳴らない設定にしてください。
- ④「飲食や喫煙はご遠慮ください」
- ⑤「他の方の迷惑となる行為はやめましょう」
会議の進行を妨げ、他の傍聴者の迷惑となる行為はご遠慮ください。

山口市議会基本条例等に関する研修会の開催 第二次山口市総合計画等説明会及び現地視察の実施

令和8年4月の改選により、5月1日から新たな議員の任期がスタートしました。5月14日には、山口市議会基本条例等に関する研修会を開催し、条例の理念の共有等を図るとともに、議会運営のルール等を確認しました。

また、5月25日、26日には、山口市が推進する主要施策等への理解を深め、幅広い視点から政策提案等を行っていくために、新人議員を中心とした説明会及び現地視察を実施しました。当日は、午前中に第二次山口市総合計画や令和8年度当初予算、協働によるまちづくり及び本庁舎整備事業についての説明を受け、午後からは市内各施設を視察しました。



この春リニューアルオープンした「道の駅に保の郷」



昨年オープンした「湯田温泉こんこんパーク」

議会の主な動き



3月

- 13日 議会運営委員会、会派代表者会議
- 26日 市議会だより等編集委員会(以下、「編集委員会」)

4月

- 3日 第92回山口県市議会議長会定期総会
- 7日 編集委員会
- 23日 第158回中国市議会議長会定期総会(～24日)

5月

- 12日 会派代表者会議
- 14日 会派代表者会議
山口市議会基本条例等に関する研修会
- 19日 会派代表者会議
第2回臨時会、全員協議会、議会運営委員会
- 21日 会派代表者会議
広報広聴委員会
- 25日 第二次山口市総合計画等説明会及び現地視察(1日目)
- 26日 第二次山口市総合計画等説明会及び現地視察(2日目)
全国温泉所在都市議会議長協議会第108回役員会、第55回総会
- 27日 全国市議会議長会第102回定期総会

6月

- 1日 議会運営委員会
編集委員会
- 8日 第3回定例会初日(～29日最終日)
- 9日 議会運営委員会
- 15日 編集委員会
- 25日 編集委員会
- 29日 議会運営委員会

編集後記

改選後、新たな市議会による初めての定例会の「市議会だより」をお届けします。編集委員会では、市民の皆様へ議会の活動をより分かりやすくお伝えできるよう努めてまいります。今後とも、市議会だよりをご覧いただき、議会への関心を深めていただければ幸いです。(大田)

次回定例会日程のお知らせ

(予定)

陳情の受付…8月26日(水)まで 請願の受付…9月2日(水)まで

日	月	火	水	木	金	土
9/6	7	8	9	10	11	12
	本会議 (初日) 10:00～					
13	14	15	16	17	18	19
	本会議 10:00～ (一般質問・質疑)	10:00～17:00 ケーブルで生中継		本会議終了後 予算決算 委員会		
20	21 敬老の日	22 国民の休日	23 秋分の日	24	25	26
					予算決算 委員会 10:00～	
27	28	29 教育民生 委員会 生活環境 委員会 10:00～	30 教育民生 委員会 生活環境 委員会 10:00～	10/1 総務 委員会 農林建設 委員会 10:00～	2 総務 委員会 農林建設 委員会 10:00～	3
4	5	6	7 予算決算 委員会 10:00～	8	9	10
					本会議 (最終日) 10:00～	

会議日は傍聴ができます。

議会の内容をウェブでご覧いただけます

- 山口市議会ウェブサイト
<https://www.city.yamaguchi.lg.jp/site/gikai/>



- インターネット録画中継
<https://cstream.c-able.ne.jp/yamaguchi-gikai/m/>



ご感想をお寄せください

議会や市議会だより、ウェブサイト等をご覧になったご感想やご意見をお寄せください。

住 所：〒753-8650 山口市亀山町2番1号
電 話：083-934-2854 / FAX：083-934-2658
メール：gikai@city.yamaguchi.lg.jp
あて先：山口市議会事務局「議会の感想」

【表紙写真】

秋穂地域交流センターで行われた秋穂ふれあいまつりの「エコ風船とばし」の様子です。色とりどりの風船が空高く舞い上がりました。

これからの山口市の未来への希望をもち、議論を重ねてまいります。

市議会だより等編集委員会

委員長 大田たける 副委員長 米本太郎
委 員 岡田純子・立花和江・柿沼瑞穂・西崎孝哉
田坂修司・植野伸一・関谷拓馬・澤田 誠

次号は12月発行です